



2002年01月09日

北米デトロイト モーターショーにて、スタディーモデル「マジェラン」を出展

アメリカ ミシガン州デトロイトで開催した、ノースアメリカ インターナショナル オートショー(通称:デトロイト モーターショー)において、フォルクスワーゲンAGは、全く新しいクロスオーバー コンセプトに基づいたスタディーモデル「マジェラン」を発表しました。

ポルトガルの探検家「マジェラン(マゼラン)」に因んで命名されたこのコンセプトカーは、フォルクスワーゲンが提案する全く新しいクルマ造りを意味する、クロスオーバー コンセプトという考え方に基づいて製作されています。このコンセプトは、「現在、数多くある自動車のセグメントから、それぞれに内在する優位点を選び出し、それを基本にして調和のとれたクルマを造り出していく。」という事を意味しています。今回、バルセロナ近郊にあるフォルクスワーゲン デザイン センター ヨーロッパのデザイナー チームによって製作された「マジェラン」の場合には、最新のオフロードカー(SUV)に見られるエモーショナルな要素と、バン(MPV)が持つ変化に富んでいるという点。そして、ワゴンタイプの乗用車にあるような俊敏性など、様々なセグメントのエッセンスを開発コンセプトに取り入れ、一つの作品としてまとめられています。

「マジェラン」は、202kW/275psを発揮する最新のW型8気筒エンジンを搭載。4MOTION(4輪駆動モデル)を基本レイアウトとし、アクティブなオイルダンパー システムを装着したエアースプリング サスペンションが採用されています。ボディサイズは、全長4,685mm、全幅は1,860mm、全高は1,620mmであり、SUVに匹敵する大きさではありながら、全高を低く抑え、スポーティーなプロポーションが与えられています。また、個性的なエクステリアはホイールハウスやミシュラン製の245ワイドタイヤ、6スポーク19インチホイールなどが印象的で、高いフロアパネルと短いオーバーハング、長いエンジンフードや斬新なフロントマスクのデザインなど、オフロードカーとしての性格も強くアピールしています。

さらに、インテリアにも特筆されるべき部分が多く、高品質で丈夫な素材(アルカンタラ、レザー、アルミ)が多用され、従来のメータークラスターとは、大きくそのイメージを異にする斬新なデザイン提案が行われています。さらに、3列、6人乗りのシートレイアウトにも、革新的なアイデアが盛り込まれています。フロント同様、2列目にもセパレートシートが採用されています。この2列目のシートは、センターに有る1本のシートレールの上をモノレールの様に前後に動かす事ができます。そして、3列目のベンチシートは、完全にフロアと同じ高さまで畳み込む事ができ、室内空間を自由にレイアウトする事が可能です。

なお、このコンセプトカー「マジェラン」のオフィシャル フォトは、VGJインターナット ホームページ内プレス クラブにアップされており、閲覧および、ダウンロードしてご利用頂けます。